



# 京機会ニュース

No. 28 平成22年(2011年)春号

京機会事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL&FAX:075-753-5183 URL:http://www.keikikai.jp/  
E-mail:jimukyoku@keikikai.jp



## 平成23年度 春季大会・総会

- 家族揃って、歴史・文化・芸術を楽しむ京機会 -

平成23年春季大会・総会は、関西支部主催により、大阪にて4月17日(日)に開催いたします。

会場の大阪市中央公会堂は1918年にできたネオルネッサンス様式の建物で、現在は国の重要文化財です。(写真左:外観 写真右:特別室)



また、中之島周辺には多くの見どころがあります。とくに、造幣局の桜は有名です。



詳細は、P2~3をご覧ください。皆様のご参加をお待ち申し上げます。



## 陽春(4月)は京機会月間!

今年の4月は、各支部の京機会行事が3週連続開催と目白押しです。詳細は支部報告でご確認下さい。皆様の多数のご参加をお待ちいたします。

### ■中部支部：4月9日(土)

支部総会を **テニソードスクエア(愛知県刈谷市)**にて開催します。

### ■関西支部：4月17日(日)

春季大会を **大阪市中央公会堂(大阪府中之島)**にて主催いただきます。

### ■九州支部：4月23日(土)~24日(日)

春の行事を種子島で開催します。

種子島迄行くなら屋久島もという方のためにオプションとして屋久島観光も計画しました。



今年も続く学生会員の躍進 !!

- iCAN'11 国内予選 1位受賞 -

- TRR2010 Best Autonomous Award 受賞 -

平成22年12月7日に仙台で開催された「第2回国際コンテスト・iCAN 2011 日本予選 大学生部門」において、ナノ・マイクロシステム工学研究室(田畑研究室:ナノ支援ネットワーク参加者)の4回生有志で結成された **チーム「TBT」**が、昨年に引き続き1位を受賞しました。今号では、彼らの研究成果を、P.12にてご紹介しております。

続く12月14日~17日には、バンコクで開催された **国際レスキューロボット競技会**において、メカトロニクス研究室(松野研究室)の修士1回生が中心になって構成された **チーム「SHINOBI」**も **Best Autonomous Award**を受賞しました。



チーム「SHINOBI」



## 今号は、若手会員特集号です!!

最近、幅広い年齢層の会員の皆様が、京機会行事に多数参加いただけるようになりました。

今号では、若手会員にフォーカスし、若手会員発信の「支部交流会情報」や「先輩からのメッセージ」、学生会員が在籍する「京機会学生会SMILE」「フォーミュラチームKART」の活動報告、「学生会員からの研究報告」など5ページに渡り、紹介しております。



## 会費納入にかかる御礼とお願い

前号にて、秋季大会以降の **京機会各行事参加において、当該年度の会費納入を前提にて参加をお願い**いたしました。各支部総会で、該年度の会費徴収を実施させていただいております。各位には、**ご協力いただき、誠にありがとうございます。**

今後、その他の支部行事においても、納付のお願いをさせていただきます。ご理解の上、引き続きご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

なお、各位の会費納付状況は、ニュース同封の振込用紙に記入されております。

また、各位の振込みの手間を省くため、従来の **■年会費自動引落の他、平成22年度より納入方法として、■クレジット払い ■インターネットバンキング** が加わりました。詳細はP.9をご確認下さい。

## 京都大学卒業生名簿への登録 - 「京大アラムナイ」 -

拝啓 京機会会員各位には、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。京機会の活動に対し、いつもご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。ご

ざいます。さて、この度、京都大学が「京都大学卒業生の名簿システム〈京都大学アラムナイ・ネットワークシステム〉(略称「京大アラムナイ」)を導入しました。

このシステムは、卒業生名簿管理だけでなく、メール等により定期的に京都大学から様々な情報を皆様方にお届けし、また、登録者相互間で連絡を取ることも可能とするものであります。

さらに、京都大学ホームページからアクセスでき、住所やメールアドレスの変更等があった場合はインターネット上で修正していただくことができ、その情報は京機会にも連絡されます。京機会では、「会員相互の交流と親睦を図る」という京機会の趣旨にかなったシステムと判断いたしております。

この度、京都大学から各学部・学科同窓会に、この「京大アラムナイ」の登録に関する協力依頼がありました。京都大学からの情報発信を円滑に行うために、京機会の名簿データ(氏名、住所、卒業・修了年次、登録済みのメールアドレス)の提供依頼でございます。この件は、個人情報保護という観点から重要な案件でありますので、昨年11月13日の幹事会・評議員会で議論し、総会で承認を得ました。

そこで、大学への名簿データの提供を望まれない方は、本年4月30日までに、同封の葉書かメールにて京機会事務局 [jimukyoku@keikikai.jp](mailto:jimukyoku@keikikai.jp) までご連絡ください。ご要望にしたいが、大学へのデータ提供は行いません。

データの提供を望まれない会員を除外させていただいたうえで、「京大アラムナイ」への仮登録\*1だけに使用するという条件も付し、「氏名、大学卒業情報、住所、メールアドレス」を京都大学に提供することといたしたいと思います。

これにより、6月頃、大学から「京大アラムナイ」のIDとパスワードが郵送にて届きますので、本登録をしていただければと存じます。もちろん、この段階で登録を断ることも可能です。

何卒、宜しくご了解・ご協力の程、お願い申し上げます。

末尾ながら、会員の皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。 敬具

京機会 会長 久保 愛三(S41)

\*1 仮登録とは、京都大学から「本登録依頼」が皆様方に送られるための連絡先通知のこと

\*2 「京大アラムナイ」についてのお問い合わせは、京都大学企画部社会連携推進課(電話075-753-2238・2029)までお願いします。

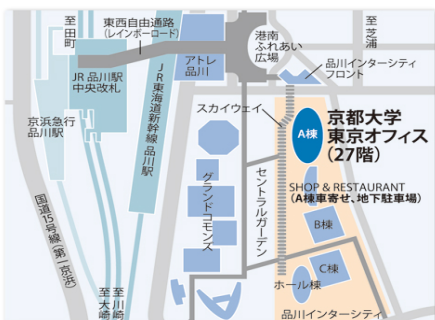
京都大学では、平成22年8月に**京都大学アラムナイ・ネットワーク「京大アラムナイ」**を開設しました。これは、卒業生相互、更には京大と京大卒業生のコミュニケーションをより密接にし、末長く“つながり”を大切にしていけるためのネットワークシステムです。

京都大学で学ばれた卒業生の皆様が、「**京大アラムナイ**」をご活用いただき、新たな出会いや再会、交流、更には卒業生と京都大学を結ぶ絆を深めていただく一助となることを願っています。皆様のご登録をよろしく申し上げます。



京都大学総長 松本 紘

### 東京での卒業生の交流の場に京都大学東京オフィスをご利用下さい！



「**京都大学東京オフィス**」は、京都大学の東京における情報の収集及び発信の拠点として、JR品川駅から至近に位置する「**品川インターシティA棟27階**」に設置されています。品川は新幹線に直結し、また羽田空港の国際化ともあいまって、国内はもとより、世界とも繋がる拠点ともなっています。同オフィスには、卒業生をはじめ、教職員、学生が無料で利用できるラウンジ、パソコンを備えたワークスペースがあり、また、同窓会、各種セミナー、フォーラム、研究会などに利用できる会議室を3室(有料)ご用意してます。



■ 開館日・利用時間: 月曜日から土曜日までの毎日 10:00~20:00

■ 詳細: URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office>

## 平成23年度京機会春季大会・総会 開催のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。  
ご家族の参加も歓迎いたします。多数のご出席をお待ちしております。

- 日 時：平成23年4月17日（日）
- 総 会・懇親会 14：00～18：30
- 会 場：大阪市中央公会堂 中集会室・特別室

大阪市北区中之島1丁目1番27号 TEL：06-6208-2002

地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車<1>番出口から徒歩約5分  
地下鉄堺筋線/京阪電鉄「北浜」駅下車<22>号出口から徒歩約6分  
京阪電鉄中之島線「なにわ橋」駅下車<1>番出口から徒歩約1分



### ■ 行 事：

#### I. (11：00～13：00) 特別企画

##### 大阪ガス(株) 泉北製造所とガス科学館 見学

集合：①新大阪駅前ロータリー(新大阪駅1階西詰南側) 10：10

②南海羽衣駅近傍羽衣バスターミナル 10：40

スケジュール：11：10 挨拶・工場概要説明→11：40工場見学→

12：20昼食→12：50総会会場へ出発

参加費用：1,000円(昼食込み)



●参加希望者は、参加人数(同伴者含)と集合場所を必ず回答下さい。詳細は参加者に別途案内いたします。

#### II. 14：00～15：00 春季大会・総会

#### III. 15：15～16：30 特別講演会

##### 「レオナルド・ダ・ビンチと科学技術」 京都大学名誉教授 齊藤 泰弘 氏



科学と芸術一要するに理系と文系一の才能を併せ持つレオナルドは、近代科学技術の先駆者である。彼はどのような科学理論を持ち、何のために技術的発明を使おうとしたのかを、彼のさまざまなアイデアと失敗例から明らかにする。

#### IV. (同時開催14：00～16：30) サロン

特別室にて、**園 歌織さん**(写真右)が**バイオリン演奏を行います**。会場では飲み物、お菓子をご用意しております。**皆さんの楽器演奏(各自持参\*)も歓迎します**。演奏希望者は京機会事務局までご連絡下さい。



\*講演会場と隣接していますので、太鼓等の大きな音の出る楽器は避けて下さい。

#### V. 16：45～18：30 懇親会 (途中、バイオリンコンサートがあります)

■ 会 費(懇親会費)： 総会・特別講演会・サロンのご参加は無料です

2000年以前に学部卒業の方：10,000円 2001～2005年に学部卒業の方：8,000円、

2006年以後に学部卒業の方：6,000円 現役学生(学部・修士・博士)：3,000円、

同伴ご家族：無料

●中央公会堂付近イベント及び施設のご案内は、次頁をご覧ください。

●自由な服装でお越しください。

●出欠等のご連絡は、**4月4日(月)までに**、ホームページまたは同封のはがきでお寄せ下さい。

同伴者がおられる場合は、はがき回答欄にチェックの上、同伴者のお名前も記載下さい。

京機会HP(<http://www.keikikai.jp/>)からも、受付できます。HPのWEB受付では、同伴者のお名前が登録できませんので、通信欄にご記入いただきお知らせ下さい。

但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は「はがき」か「WEB受付」のどちらか一方でお願いします。



## 中央公会堂付近イベント及び施設のご案内



### 造幣局 桜の通り抜け <http://www.mint.go.jp/sakura/torinuke/info.html>

造幣局南門(天満橋側)から北門(桜宮橋側)の約560mに亘り、約120種、400本の桜が植えられており、毎年4月中旬～下旬に一般開放。(日曜日は午前9時～午後9時)平成22年は4月14日から20日までの7日間でしたが、平成23年の開催時期は3月中旬に決定されます。地下鉄谷町線、京阪本船「天満橋」駅下車、徒歩約15分。

### 水陸両用バス(ジャパンドックツアー) <http://www.japan-ducktour.com/osaka.php>

水陸両用バスで大川クルージングを含めて、大阪をぐるっとひとまわりするツアー。所用時間は陸上70分+水上30分の約100分で、大人料金は3,600円。地下鉄谷町線、京阪本船「天満橋」駅下車。

### 大阪水上バス <http://suijo-bus.jp/cruise/>

**アクアライナー**：水上バス(アクアライナー)で大川を周遊する水上観光船。  
**ひまわり**：遊覧船(ひまわり)で大川をクルーズしながらランチ等が味わえます。  
**サンタマリア**：コロンブスの旗艦サンタマリア号をモチーフに約2倍の規模で建造した観光クルーズ船で大阪港を周遊する。

### 大阪市立東洋陶磁美術館 <http://www.moco.or.jp/> 9:30～17:00 観覧料 一般500円

住友グループから寄贈された安宅コレクションと呼ばれる東洋陶磁コレクションを核として1982年に設立された美術館で、高麗・朝鮮時代の朝鮮陶磁、中国陶磁を中心に、国宝2件、重要文化財13件を含む約4000点が収蔵。

### 国立国際美術館 <http://www.nmao.go.jp/japanese/home.html> 10:00～17:00 観覧料 一般420円

1977年に万博記念公園内に設立され、2004年に中之島に移転し、第二次世界大戦以降の国内外の現代美術を中心に収蔵しています。大阪市立科学館に隣接する敷地に、ユニークなエントランスを持つ地下の美術館。

### 大阪市立科学館 <http://www.sci-museum.jp/> 9:30～17:00

大阪市制100周年事業として1989年に開館した「宇宙とエネルギー」をテーマとした科学館。前身は大阪市立電気科学館。世界5位の直径26.5mのドームでのプラネタリウム・オムニマックス(IMAX)による天体の映写のほか、2004年7月にプラネタリウムが全天デジタル映像装置を組み合わせた次世代の施設としてリニューアルオープン。

### 大阪城 <http://www.osakacastle.net/> 9:00～17:00 入館料 大人600円

復興された大阪城天守閣内の博物館。戦国時代から天下統一にかけての資料、武具等を展示。



## 支部だより

## 関西支部からのお知らせとご報告

### 平成23年度 支部総会・新年会の報告

平成23年1月15日(土) ホテルグランヴィア大阪  
・支部総会 (17:00～17:45、出席92名)

平成22年度の支部各種活動報告を行った後、22年度決算、23年度役員、活動計画、予算の審議を行い、原案通りに可決されました。新支部長には並木宏徳氏(S44)が、新事務局長に高橋健司氏(S56)が就任しました。本年度、関西支部が主催する京機会春季大会(4月17日)の成功に向けて支部会員の結束を確認しました。

・新年会 (17:45～19:45、参加107名)

平成23年度当番会社(三菱重工業)代表 長島副支部長(S51)の開会挨拶、並木支部長(S44)の新任挨拶、京機会 久保会長(S41)のご挨拶、京機会春季大会に向けて平田実行委員長(S45)の決意表明、大学代表 松久教授(S45)の近況報告の後、参加最年長の若林氏(S22)のご発声で乾杯しました。時が経つにつれ参加者の弁に熱がこもり賑やかな新年会となりました。途中、学生フォーミュラ「KART」の活動報告があり、最後は「琵琶湖周航の歌」大合唱の後、京機サロン「結びの会」三津田会長(S46)の万歳三唱で宴は締めくくられました。





下期の活動報告と今後の予定

■産学懇話会

- 第33回：平成22年10月9日(土)参加者30名
- (1)「オンオフ型入力で高性能を目指す制御法について」 京大 杉江 俊治氏(S51)
  - (2)「日本のISO戦略」一志(株)顧問 吉岡 肇氏(S37)
  - (3)「微小流路内の熱流動計測とその応用」 京大 巽 和也氏(H9)

講演のあと懇親会で奥深い論議ができましたが、ぼつぼつマンネリ化してきました。

**存続の是非も含めて平成23年度の企画についての提案をお寄せください。**

■異業種交流会

- 第29回：平成22年10月15日(金)
- 西日本旅客鉄道(株) 網干総合車両所 参加18名  
網干総合車両所施設の見学および下記2件の講演
- ①「JR西日本におけるCO2削減の取り組み」 技術部 技術主幹 小林 聡氏(S58)
  - ②「網干総合車両所における検修リスクマネジメント」 網干総合車両所 所長 久保田修司氏(S62)



- 第30回：平成23年3月4日(金)
- (株)島津製作所 本社 メディカルセンター・医用新工場の見学/下記講演と意見交換
- 「最近の医用画像診断機器に関するトピックス紹介」 医用機器事業部 森谷 英之氏(S55)

★今回はSMILEと共催企画 学生会員30名が参加

■MOT研究会(京機サロン)

- 第41回：平成22年12月11日(土)
- 中央電気倶楽部 参加者28名
- 「無題(卒業から衆議院議員までの平氏の人生)」 衆議院議員 平 智之氏(S58)

<若手交流会>

- 第6回：平成22年11月20日(土) 大山崎町(京都府)
- 参加者17名 山崎蒸溜所と山荘美術館見学

<MOT企画委員会>

初回会合：平成22年7月14日 参加者13名

新しい試みとして、幹事企業から中堅メンバーを募ってMOT企画委員会を発足させました。

\*平成23年は、MOT企画委員会の意見を参考にしながら、年間5~6回の交流会、講演会を開催するとともに文楽鑑賞などの文化に触れる活動も行います。

また、**若手交流会、会員・家族の婚活支援のための「結びの会」を支援します。**

■KMC(京都MOTセンター)

大手企業のニーズにあうシーズを探索して付き合わせるビジネスマッチングに取り組んでいます。

平成22年はKRPとの共催で精密加工と生産技術をテーマに、9月2日:シンポジウム、11月1日:京都精密機器メーカーとのマッチング会を開催、母校教授、京機会員会社のご協力をいただき、質の高いマッチングを開催する事が出来ました。



この他TSI社などからの受託事業もあり、今後社会的に認知され、活動の幅を広げるためには法人格の必要性を痛感しています。

12月18日に、ホテルグランヴィア大阪で開催した**平成22年度総会において、「NPO法人京都イノベーション・リソース」を、平成23年春、設立する予定である事を発表しました。**

■京機九日会

- 偶数月9日(除12月)に中央電気倶楽部(大阪・堂島)で、11時~14時に開催しています。平成23年はS40卒組が幹事を担当します。本年予定は下記の通り。
- 2月9日「外国公館における日本人職員の役割」 天野 到氏(S40)
  - 4月9日「ISO14001環境審査員のよもやま話」 牧川 安之氏(S40)
  - 6月9日「旧制第三高等学校の技術資料をいま今に伝える」 「電子図書をアナログ世代が使いこなすために」 塩瀬 隆之氏(H8)
  - 8月9日「中学時代の製図と数学で気になったこと」 「ローカル列車の四季(鉄道写真の趣味)」 八尾 正夫氏(S40)
  - 10月11日「国鉄・思い出話」 濱野 清士氏(S40)
- \*10月には卓話のあと恒例の懇親会を開催しますので参加者は予め幹事にご連絡ください。

幹事：八尾正夫(代表)、濱野、西宗、牧川

■京機・京都の会

京都近辺の京機会員交流会を3、7、9、12月の第一土曜日、ウエスティン都ホテル(三条、蹴上)で11時から開催しています。毎回40分程度の話題提供の後、会食・懇談の楽しい一時を過ごしています。

<活動報告>

- 平成22年12月4日(土)
- 「鉄道模型における技術革新と駒井鉄道の紹介」 駒井 謙治郎氏(S38)

参加希望の方は幹事の藤尾( )、又は森( )までご連絡下さい。



## 関東支部からのお知らせとご報告

### 第9回関東支部異業種交流会の報告

日時：平成22年12月10日(金) 14:00～18:30  
 場所：日本IBM大和事業所 参加人数 24名  
 講演：IBMの研究開発最前線/Smarter Planetの紹介  
 見学：日本ビジネス・ソリューション・センター

従来の工場見学とは趣向を変えて、IBMが進めてきたソリューションビジネスへの転換を講演で紹介いただいた。見学では、コンピュータハードウェアの歴史を拝見させていただいた。いずれも、さまざまな意見交換があり、大変盛り上がった会でした。

### 第11回関東支部総会・新年会の報告

日時：平成23年1月22日(土) 14:30～20:30  
 場所：日立金属高輪和彊館

■リカレント教育講座 14:30～15:45

「急速に進化するディーゼルエンジン技術」

講師：石山拓二氏(S53)

京都大学エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻教授

■総会 16:00～18:00

講演：「人間の友達の機械としての自動車と

日本の自動車技術・産業」

両角岳彦氏(自動車科学技術評論家)

久保愛三氏(S41、京都大学名誉教授)

総会に69名、新年会に67名のご参加をいただき、

盛況に開催いたしました。リカレント教育講座には石山教授(S53)に、特別講演には両角岳彦氏、久保名誉教授(S41)にお越しいただき、自動車に関する講演で、非常に盛り上がりました。総会では、写真同好会の写真を展示し、活動成果を紹介しました。



### 第4回関東支部若手交流会の報告

日時：平成22年10月23日(土) 19:00～21:00

場所：駒形どぜう 参加人数 13名

**関東支部では、若手活性化活動として昨年度から交流会を開催しています。**4回目は、江戸情緒のある浅草で開催いたしました。大先輩も何人か参加いただき、若手の交流を深めていただきました。

また、平成23年2月19日には、屋形船でクルージング懇談会を開催いたしました。

## 中部支部からのお知らせとご報告

### 学生工場見学会、技術交流会/懇親会の報告

日時：平成22年9月16日(木) 13:30～  
 工場見学：㈱デンソー高棚製作所自動車用メータ工場  
 講演会/懇親会：デンソー安城荘  
 講演：「東邦ガスにおける環境への取り組み」

伊藤 広之氏(S58) 東邦ガス㈱技術開発本部

例年、大学の夏季休暇終盤に実施される現役学生の中中部地区工場見学会に合わせ、今年度もOBとの技術交流会/講演会/懇親会を開催しました。

学生は集合場所となった名古屋市の産業技術記念館で繊維産業/自動車産業の進化に関する展示を中心に見学した後OBと合流、技術交流会では㈱デンソー高棚製作所自動車用メータ工場と技能研修所を見学し、多品種に対応するフレキシブルな生産方式と我が国の製造業を支える技術の伝承について知識を深めました。

工場見学の後、講演会/懇親会会場のデンソー安城荘に移動し、東邦ガス㈱の伊藤さんに「東邦ガスにおける環境への取り組み」と題して、エネルギーの安定供給と環境保護の両立を目指す取り組みにつきご講演いただきました。

講演会の後は懇親会を開催し、学生・OB入り交じり、飲み物片手にコミュニケーションを深め、OBか

ら中部地区の魅力についてPR(リクルート活動)される場面も見受けられ、学生にとって中部地区が身近な存在になったようです。



### 支部総会のお知らせ

平成23年度中部支部総会を、平成23年4月9日(土)に開催します。

今回の会場はデンソーDスクエア(愛知県刈谷市)です。詳細案内は後日ご案内します。多数の皆様のご参加をお待ち致しております。



## 支部だより

### 中国・四国支部からのお知らせとご報告

#### 平成23年度支部総会の報告

日時：平成23年2月5日(土) 10:00～19:30  
見学会：呉 大和ミュージアム 参加人数：41名  
支部総会場所：広島ダイヤモンドホテル

見学会では、戦艦大和の10分の1スケールモデル及び零戦の実物等を展示している大和ミュージアムを見学しました。

異業種交流会では、京大琵琶教授(H2)から「超音波を用いた機能・健全性の評価」を、三菱重工(株)神納技師長から「民間航空機における雷保護技術」と題する講演をいただきました。共に興味深い講演内容で、活発な質疑応答がなされました。



#### 平成23年度中国四国支部役員

支部長 石崎幸人(S43)  
副支部長 稲本信秀(S52)、山本謙(S50)  
中西敏修(S50)、琵琶志朗(H2)  
監事 三原豊(S43)  
事務局長 松浦 正幸(S61)  
事務次長 樋野悦司(S58)

#### 技術連絡会の報告

日時：平成22年10月16日(土) 14:30～19:15  
見学会：坂出発電所および坂出LNG基地

見学会では、四国電力(株)坂出発電所および坂出LNG(株)坂出LNG基地を見学しました。最新のLNG基地からは、夕日を背景にした瀬戸大橋を眺めることができました。その後、支部役員連絡会および懇親会を行い、会員相互の懇親を深めました。



### 九州支部からのお知らせとご報告

#### H22秋の行事の報告

平成22年11月6日(土)に、北九州市にて京機会九州支部秋の行事を開催しました。家族1人を含めて21人が参加しました。先ず、TOTO(株)の小倉第二工場を見学しました。TOTO(株)では、2017年までに家庭の水周りから出るCO2 50%以上削減の目標に向かって進んでおります。総会では、相馬和夫氏(S50)が新支部長に選出されました。次に、小倉城内の松本清張記念館を見学しました。再び場所を松柏園ホテルに移し、懇親会を行いました。出席者全員から自己紹介や近況報告がありました。

その後、マイウェイにて二次会を行い、「琵琶湖就航の歌」でエンディングとなりました。

翌日の下関海響マラソンでは千々木亨氏(S54)が見事完走しました。



#### H23春の行事のご案内

- ◆日時：平成23年4月23日(土)～24日(日)  
◆場所：鹿児島県 種子島、屋久島(オフション)
- 第一部：種子島観光**  
4/23 15:00～17:00 種子島鉄砲館、千座の岩屋等
- 第二部：懇親会 門倉亭南荘**  
4/23 18:30～20:30 宿泊費を含めて約1万円/人
- 第三部：見学会 JAXA宇宙センター**  
4/24 09:00～12:00 宇宙科学技術館、大型射点
- 第四部<オフション>：屋久島観光**  
**<オフション①> 屋久島1泊**  
4/24 夕方 種子島 → 屋久島 ホテル屋久島山荘  
4/25 09:00～12:00 屋久島観光 屋久杉ランド  
**<オフション②> 屋久島2泊**  
4/24 夕方 種子島 → 屋久島 ホテル屋久島山荘  
4/25 05:00～18:00 屋久島観光 縄文杉往復  
4/26 09:00～12:00 屋久島観光

#### <お願い：重要>

- ・詳細は京機会ホームページを参照願います。
- ・種子島、屋久島への航空機・高速艇は各自手配です。

#### ◆参加申し込み方法：

同封はがき回答欄、京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>)での登録もしくは、下記幹事宛にメールにてお申し込み願います。

#### ◆幹事：

京機会九州支部 顧問 藤川 卓爾(S42)

## 平成22年度京機会秋季大会・総会のご報告



日 時：平成22年11月13日(土)  
総 会：京都大学時計台百周年  
記念館百周年記念ホール  
懇親会：同記念館国際交流ホール

### － 京機会関連研究室オープンラボ企画 －

13時より物理系校舎などに於いて、京機会初めての試みとなる「オープンラボ」企画を開催しました。全研究室のポスター紹介の他、17の研究室公開がありました。卒業生をはじめ、学生会員も多数参加いただき大変盛会に終了しました。「子ども企画」にも多数のご参加がありました。



### － 総会 －

北條正樹代表幹事(S54)の司会で、平成22年度京機会秋季大会・総会がスタートしました。



久保愛三京機会会長(S41)の挨拶、小森 悟(S49)工学研究科長の挨拶に続いて、新任教員(花崎秀史教授(S59)、巽 和也准教授(H9)、河野大輔助教(H17)、木下勝之准教授(H6)の紹介があり、会則の変更(監事3名→若干名とする)、京大アラムナイへ京機会会員が登録するかを確認するために同窓会名簿を提供することが報告されました。

続いて、上半期の本部・支部活動の報告、見学会の状況、今回の総会の趣旨、年会費自動引落についてのお願い、基金の運用状況、拡大運営委員会・メール幹事会による運営、今後の支部行事の説明がありました。京機会の会計が赤字であることから、会費納入の促進と財政健全化を議論し具体案をつくることが報告されました。

最後に、平成23年度の京機会春季および秋季大会・総会についての予定が紹介されました。



### － 講演会 －

続いて宇宙科学研究所(JAXA)の川口淳一郎教授(S53)により「はやぶさ7年の旅」と題した総会講演が開催されました。

“小惑星探査機”はやぶさ”は天体表面の標本を地球に持ち帰るサンプルリターンの技術実証のための探査機であったこと、構想から25年かけたプロジェクトであったこと、イトカワ着陸後に様々なトラブルに見舞われ、通信が途絶えたはやぶさをどのようにして地球に帰還させたかなどをわかりやすく講演頂きました。「運を實力に変え定着させる持続的な活動を」「高い塔を建ててみなければ新たな水平線は見えない」等、困難なプロジェクトを成功に導いた同氏の強い信念からわき出る言葉に深い感銘を受け、カプセルを地球に届けるミッションをまっとうし自らは燃え尽きたはやぶさに機械を超えた深い情を感じました。



### － 懇親会 －

懇親会は、杉江俊治教授(S51)の司会で、時計台2階の国際交流ホールにて行いました。



講演会の講師 川口教授(S53)のご挨拶について、マイクロエンジニアリング専攻長 琵琶志朗教授(H2)ご発声の乾杯で開宴し、立食パーティー形式で歓談しました。

途中、大学理事 大西有三副学長から来賓挨拶をいただいた後、学生フォーミュラプロジェクトの活動報告がありました。

最後に平田誠計関西支部長(S43)から来年4月の春季大会の案内があり、川口東白元会長(S34)の音頭による一本締めで散会となりました。





## 会費納入のお願い

### 平成23年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

本会の運営は皆様の会費によって支えられております。年会費は主に事務局の維持、ニュースの発行など全会員に関連する目的に使われており、各行事は主にそのつど追加で徴収する参加費で運営されております。是非、会費納入にご協力下さい。

会費ならびに寄付ともに同封の振込用紙(返信はがきと一体となって印刷)をご利用下さい。

**また、各位の振込みの手間を省くため、従来の会費自動引落のほか、平成22年度よりクレジット払いやインターネットバンキングも実施しております。**

### ■ クレジットカード払い

申請書に必要事項をご記載の上、指定番号までFAX下さい。FAX番号は用紙に記載されております。

**申請用紙は、京機会HPより出力いただけます。**

### ■ インターネットバンキング

下記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします(海外送金は除く))

＃口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

**ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821  
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630  
郵便振替口座 00990-8-116821**

### ■ 京機会費自動引落

**各位の振込みの手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落にいただくことを、是非お願い申し上げます。**申請用紙は、毎年、ニュース春号に同封しております。京機会ホームページの「会費納入のお願い」のページからもダウンロードできます。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。

なお、ご利用時は右記注意事項をご確認下さい。

- ①申請依頼書は下記京機会事務局宛にご郵送下さい。  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局
- ②今年度分の会費は来年6月に来年度分とまとめて引落されます。再来年以降は6月にその年度の会費が引落されます。

### 寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、下記の会員各位からご寄付をいただきました。ご報告申し上げますと共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

#### 平成22年度ご寄付者 ( H22. 9. 13~H23. 2. 15 )

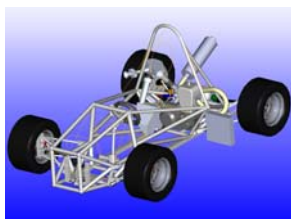
坂西 順様(1946) 仁科 稜三様(1958)  
林 卓郎様(1972) 村田 裕幸様(1979)  
昭和54年卒業生一同

## 学生KARTからのお知らせとご報告

私たちKARTは、学生のみで一からレーシングマシンを開発する団体です。KARTでは、車両の設計、製作のみならず、渉外、広報、会計処理、チームマネジメントに至る全ての業務を学生自らの手でを行います。車両開発の中で直面する様々な問題を克服し、技術力を身につけていくのはもちろんのこと、メンバー間で折衝することや、責任を持って担当部署を勤め上げることといった、座学では学ぶことの出来ない幅広い経験を学生のうちから積むことを目指しています。

「2年かけて総合優勝を目指す」という「2ヵ年計画」の1年目として臨んだ前回大会。十分に走りこんだ車両は大会のメインイベントである周回走行競技において全国2位という好成績を残すも、総合順位は9位と満足できる結果ではありませんでした。今年度、私達はその悔しさをバネに「2ヵ年計画」の最終目標である「総合優勝」を狙いに行きます。

今年度、私たちはかねてから計画していた車両のフルモデルチェンジに挑戦します。今年度車両における一番の変更点はエンジンの変更です。



これまで私たちは高回転型の四気筒エンジンを使用してきましたが、昨今の日本大会におけるコースは、低速コーナーが多く高速区間が少ないというレイアウトですので、そのパワーを持って余しているというのが実情でした。そこで、今年度は思い切って単気筒エンジンへと変更し、低速でのトルクの改善を狙いつつ、同時に燃費競技においても高得点を狙うことにしました。エンジンの変更にともない、出力は下がることにはなりますが、上記のコースレイアウトのため、単気筒エンジンの出力特性なら十分に勝負が出来るものと結論づけました。

車両全体としても、今年度はテクニカルディレクターが各パーツの重量から重心位置に至るまで事細かに目標値を設定し、車両全体としてのまとまりをこれまで以上に重視して設計を行いました。また、伝達効率の向上を狙い、これまでのチェーンドライブからギアドライブへの変更を行うなど、新しい技術も積極的に取り入れております。

「総合優勝」という、チーム発足以来の夢を実現するべく、メンバー一同弛まぬ努力を続けてまいりますので、ご声援のほどよろしくお願い致します。

**京都大学フォーミュラプロジェクトKART  
2011年度プロジェクトリーダー 藤井拓磨(B3)  
KARTホームページ: <http://www.formula-kart.org/>**

## 学生会員へのお知らせ



### 大学院学位授与式のご案内

本年度も教室では、3月23日17時(予定)～物理系校舎313室にて、機械理工学・マイクロエンジニアリング専攻の学位記授与式、3月24日は、12時～卒業証書授与式を行います。

### 修士修了記念パーティーのご案内

**学位授与式終了後、京機会主催の記念パーティーを開催します。**本パーティーは、2011年度に新社会人

となる学生会員が対象で、博士修了ならびに学部卒業の学生会員も参加下さい。

今年度も記念写真撮影を予定しています。



### 卒業記念品(名刺入れ)の贈呈

社会人になる方には、京機会特製名刺入れを贈呈もいたします。(2011年度会費納付が前提です。)

### 入会&データ登録のススメ

修士学生会員は「**京機会 海外へチャレンジ・臨坂基金**」に応募ができます。

【**臨坂基金:国際会議等で初めて研究発表する場合、基金より旅費等を補助、状況により修士以外の学生会員も応募可**】

申請方法は、随時、E-mailにて案内します。

■ **平成23年度も、9月に中部・関東地区(全会員)、関西支部(2回生)の企業見学を開催予定です!**

**その他学生向け情報も、多数配信していますので、京機会へのE-mail等のデータ登録をお願いします。**

## 学生会SMILEからのお知らせとご報告

### 学生と先輩との交流会の報告

日時：平成22年11月27日 参加学生：約300名

今年度も京都大学百周年時計台記念館にて学生と先輩との交流会を開催いたしました。お越し頂いた企業は官公庁含む95社、計208名にも上り、御陰様で大盛況でありま



した。学生参加者も非常に多く、会場には活気と熱気が満ち、あっという間に時間が過ぎていきました。今年度は総会とは別日程の開催であり、去年の要望を反映し開始時間も遅らせつつ、去年よりも開催時間を延ばすことが出来たことで、より時間的自由度の高い運営が行えました。また、学生事後アンケート結果からも、学生の満足度は非常に高く(約99%)、本会の重要性を再認識したと同時に達成感とうれしさを感じました。企業事後アンケートからは、時折厳しいご意見も頂戴致しました。結果は、来年に向けてより本会が成長できますよう、優先的にフィードバックする所存であります。本会の実現への本格始動から3ヶ月もの間、多大なるご協力を賜った京機会の皆様、先生方、そして先輩方にはこの場をお借りしてお礼させて頂きたく思います。



### 中部地区・関東地区工場見学会の報告(短信No145参照)

日時：【中部】平成22年9月16日～17日

【関東】平成22年9月29日～30日

昨年度に引き続き、今年度も中部工場見学会を実施いたしました。見学先はトヨタテクノミュージアム産業技術記念館、デンソー、豊田自動織機、三菱自動車工業です。また、例年冬に実施されていた関東工場見学会ですが、今年度は秋に実施いたしました。見学先は住友重機械工業、JFEスチール、IHI、富士フィルムです。両見学会とも最新の技術に触れることができ、OBの方々との交流もありまして、参加学生にとって非常に有意義な時間となりました。



関東工場見学

### 関西地区工場見学会の報告

日時：平成23年3月4日(金) 参加者：学生会員30名  
見学先：三菱電機、島津製作所

当日の様子は次号でご報告いたします。

### 4月上旬に「SMILE新歓講演会」を開催します!

詳細は、ポスターやメールにてご案内します。

### 京機会学生会(SMILE)

京大機械系の学生同士・OB間の交流を促進するために設立された学生を主体とする団体です。その執行部SMILEは、毎週ミーティングを開き、様々なイベントを計画・実行しています。新入会員も随時募集中!



## 学生会員からの研究報告

**「第2回国際コンテスト・iCAN 2011 日本予選大学生部門」において、チーム「TBT」が、1位を受賞しました。彼らの研究成果をご紹介します。**

私たちマイクロエンジニアリング専攻ナノ・マイクロシステム工学研究室(田畑研)の4回生有志で結成されたチーム「TBT」は、この度、仙台で開催された第2回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト日本予選に出場し、1位を受賞しました。このコンテストはMEMS(微小電気機械システム)を用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競うものであり、日本、中国、アメリカ、ドイツ、台湾、香港など21の国と地域で予選を行い、2011年6月に北京で世界大会を行います。出場対象者は高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生です。



国内予選のプレゼンテーションの様子

作成したアプリケーションは手話で使われる指文字を認識し、音声に変換する装置で、指文字翻訳機「TEMS」と名付けました。この装置はMEMS加速度センサと磁気センサを組み合わせることで指の形を判別し、対応する音声に変換するものです。これにより、聴覚障害のため言葉を発することが不自由な方が、手話を知らない人に意思を伝える事ができます。このアプリケーションは社会への貢献が期待されており、昨年末に毎日新聞の1面でも取り上げられました。

### <指文字翻訳機TEMS>

指文字は視覚言語の一つで、手話学習の第一歩といわれています。下図のように1つの音に対して1つの右手の形が割り振られています。通常手話では腕や手のひとまとまりの動作に、意味をもたせた手話単語を用いて意思を伝えますが、手話単語にない固有名詞や地名などを表現する際に指文字が使用されます。さらに、日本語では、ひらがな一つ一つの文字に対してそれぞれの指文字が存在するので、一音一音表現することで単語だけでなく少し高度な文章を表現することが可能です。

この指文字を音声に変換するために、まず指の形を判別する必要があります。私たちは各指の曲

げ伸ばしと、手の方向に着目しました。この2つの要素を組み合わせることで、指文字の大半を表現できます。この二つの要素をMEMSセンサを用いることで判別しました。

各指の曲げ伸ばしの判定には磁気センサを用いました。各指先に磁気センサ、手のひらに永久磁石をとりつけました。指を曲げて指先が手のひらの永久磁石に近づくと、センサ周囲の磁気が強くなるため、指の曲げ具合を検知できます。

一方、手の方向の判定には加速度センサを用いました。手の甲に取り付けた加速度センサで、垂直下向きに生じている重力加速度との角度を検知することで手の方向を判定します。

右手に取り付けたこれらのセンサが読み取った情報はマイコンに送られ、指文字の種類が判定されます。そしてあらかじめ録音されている音声スピーカーから発声されます。音声再生されるタイミングは左手に持っているスイッチを押すことで行います。



指の曲げ伸ばしの判定

手の方向の判定

昨年行われた第1回国内大会では同研究室の当時4回生(現修士1回生)が「音が出るエアギター」で優勝し、世界大会では見事3位を獲得しました。今年の国内大会でもTBTが優勝したことにより、研究室からは2年連続国内予選の優勝チームを輩出したこととなります。

世界大会は、「これからの活躍が期待されている各国の同世代の人たちと同じステージで競い合うことができる貴重な機会である」と楽しみにしています。指文字翻訳機はまだ課題も多いですが、その分改善の余地が残っていると思うので、研究室の先輩方や国内予選のときに審査員の方々からいただいたアドバイスを参考にして更なる改良を加えていき、今年の世界大会でも好成績を残せるように頑張ります。

田畑 修研究室 チーム「TBT」

秋柴俊之・上杉晃生・岡崎佑哉・片山 拓・北村彰男

## 先輩から学生の皆様へのメッセージ (8)

**金塚 憲彦氏**：松久研出身。H3年学部卒、H5年修士卒、同年、三菱電機に入社。共通部門で生産技術開発に従事。



はじめまして、松久研出身の金塚(かなづか)と言います。1993年(H5年)に三菱電機に入社しました。その後、家庭の事情で養子縁組をしたため名字が変わっておりまして、学生の際は豊田という名前でした。多分、卒業名簿でも「かなづか」なのに「た」行に載っているかと思えます。

趣味は、テニスと海外旅行です。いずれも最近、、、ですが。学生時代は、中学時代にお世話になった地元の塾で講師をしたり、アルファプラスというテニスサークルを立ち上げて活動したり、学業以外でも楽しく過ごしておりました。

会社に入って18年。この度、寄稿のお話を頂いたのを期に、学生、社会人の自分を振り返ってみたいと思います。

仕事を通じて、あるいは私生活を通じて、多くのことを経験し、学んできたように思います。その中でも1点、「立場の違い」についてお話したいと思います。

### 1. 京大生なら一度は経験!?

最初に「立場の違い」を実感したのは、大学の講義を受講している時でした。一学生として先生のお話を聞いていた時に、「おやっ?」と思うことがあったのです。お話の詳細は忘れましたが、概要は「どうして君たちはもっと勉強しようとしていないんだ。勉強すれば視野が広がるんだぞ」だったと思います。

何に、「おやっ?」と思ったか。。。実は、前の日の夜、塾で一講師の立場で、塾生に同じようなことを自分の口から発していたのです。

大事なはその時の自分の気持ちでした。つまり、講師として言っていた時の「分かって欲しい」「伝えたい」という気持ちと、学生として聞いている時の気持ちにズレがあったのです。当たり前前と言えば当たり前なのですが、「実感」した私は、なんとも言えない感覚を覚えました。

### 2. 海外だと異なる(!?)自分の立場

次に実感したのは、社会人になってから海外一人旅をした時でした。ひよんなきっかけでイギリスに自転車を持ち込みサイクリングしたのですが、プチトラブル連発でした。

決して流暢な英語がしゃべれるわけでもない私は、プチトラブルと言えども大変でした。日本では何とでもなることが、なかなか思うように進まない。そんな時、現地の人々が救世主の如く助けてくれたのです。

(詳しくは[http://www.geocities.jp/noyo\\_p/](http://www.geocities.jp/noyo_p/))

今思えば、自分でなんとかできたかも知れないし、なんとかすべき事も多かったように思います。でも、経験の浅い“Stranger”の立場では、ハードルが高いように感じてしまいました。「なんで、自分はこんなところで、こんなことをしているんだろう」なんて考えたりもしました。

でも、だからこそ、現地の方の親切心は、ほんの少しでもありがたかったですし、心に残りました。そして、思い出としては「倍」の重みになりました。(文面では伝わりにくいですがね。)

### 3. 名前変われば、、、

「女性の名字は変わるけど、男性は変わらない」などと勝手に思い込んでいた自分が改姓することになりました。どうも、生まれたときは金塚姓で、親が養子縁組をした関係で豊田になったそうで、改姓は私が金塚に“戻る”ことになっていました。「たかが名前」と高をくくっていた私。手続きも多く、予想以上に面倒で大変でした。なにより、最初、新しい姓を名乗ることに抵抗があったのには驚きました。実際は“照れ”なのですが。。

職場の同期も「かつ、かなづか。電話やで。」と呼びにくそうでした。

今では貴重な経験とっていますが、女性の気持ちがほんの少し分かったような気がしました。

以上、3つのエピソードは、それぞれ関係ないように思いますが、共通点があります。それは、意識するまでの自分は「気にしてなかった」ということです。

「相手の立場に立て」とよく言われますが難しいものです。なので、私は「相手には相手の立場があることを意識」して、似たような体験から「相手の気持ちを類推する」ことが大事なかと考えています。

例えば、「初海外での自分」を「会社に入りたての新入社員」に、「大学の先生」を「会社の上司」に置き換えて考えてみるとか。。

私は今、生産技術センターという部署で、社内外の製造現場の改善、生産設備の開発に携わっています。全社共通部門ということもあり、実に多くの方々と一緒に仕事をさせて頂いています。社外の方とのお付き合いも多いです。

よりよい成果を出すためには、各関係者がチームとして機能する必要があります。そのベースは技術力と信頼関係(人間関係)であるように思います。

2010年11月より、三菱電機の京大機械系採用活動とりまとめを担当することになりました。

新たな「立場」にワクワクすると同時に、皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

## 若手発信！交流会

最近、各支部において、若手発信の交流会が活発に開催されております。



また、若手会員だけの交流ではなく、会員ご家族を交えた企画や、先諸先輩方の交流も深めていきたいとの趣旨で企画された若手と壮年とのゴルフコンペなど、各種企画が若手会員発信で開催されております。今号は、関西支部と中部支部の活動をご紹介します。

### 関西支部 若手交流会

こんにちは、H15年卒の苗村尚史と申します。今回は関西支部の若手交流会の活動紹介をせよ、とのことで筆をとらせていただきました。

当会は社会人なりたてから10年目くらいまでの人が50名ほど(京機会会員35名、家族会員15名)参加しており、社会人サークルといった雰囲気です。

定例会を年4回開いており、陶芸体験や異人館観光、サントリーの工場見学などの企画を大阪、神戸、京都と様々な場所で行っています。定例会ごとに持ち回りで幹事を決めていて、幹事と暇な人で集まってお茶をしながら企画のアイデア出しをしています。



定例会以外でも新年会やBBQをしていて、だいたい月一回は集まっています。参加できるときに参加する、普段やらないような面白い事をしよう、というスタンスでやっています。

ここで個人的な話で恐縮ですが、卒業してしばらくは大学の頃の友達と会う機会も多かったのですが、数年たつとみんな転勤や転職、または結婚してたまにしか会わなくなっていました。そんな頃に当会に参加し同年代の友達が色々できたのは非常に貴重だと思っています。

そういうわけで当会は参加者を募集中です。

京機会関西支部のHPに活動履歴が載っていますので、ちょっとでも興味を持っていただいた方は気楽にご連絡ください。それではお会いできるのを楽しみにしています。

URL: [http://www.keikikai.jp/shibu/kansai\\_frame.html](http://www.keikikai.jp/shibu/kansai_frame.html)



サントリー工場見学

ラグビー観戦

### 中部支部 若手交流会

私たち中部支部若手の会は、“壮年と若手の交流”の活発化を目指して活動しています。各世代の皆さんに参加いただきやすいフランクなイベントを企画し、その中で壮年と若手の“顔見知り”を増やしていきたいと考えています。

中部支部ではこれまでに、懇親会、浜名湖でのボーティングイベント(写真下)、ゴルフコンペ等を実施してきました。



本年3月には白川郷への1泊旅行を計画しています。いずれのイベントにおいても、若手は先輩から公私に渡る貴重なアドバイスをいただき、壮年の皆さんには私たち若輩のお相手をいただきながら会合

を楽しんでいただくことができ、世代を超えた交流を深める非常に充実した機会となっています。

これまでの企画を振り返ると、まだまだ若手会員の参加率が高くありません。このような機会は私たち若手にとって非常に有意義なものですので、今後更にたくさんの皆さんに参加いただける魅力的な企画を実施し、中部支部の更なる活性化につなげたいと思います。

幹事 園田素康(H15)



2010年10月 中部支部ゴルフコンペの様子

## 教員の異動

### 昇任

◆**澄川 貴志 准教授**：H8岡大・工・機械卒、H10京大・工・機物博士前期課程修了、H14京大・工・機物博士後期課程修了、同年(株)日立製作所機械研究所 研究員、H17九大・工・知能機械システム専攻助手、H18京大・工・機理工COE研究員、H19. 6. 1本学機械理工学専攻材料物性学分野講師、H23. 1. 1同准教授。専門は材料強度学、金属結晶学。現在は微小構造体の強度特性に関する研究に従事。山口県萩市出身。



H21. 4. 1本学機械理工学専攻助教、H23. 11. 1同講師。専門は制御工学。最近はとくに移動ロボットの制御系設計に従事。広島県広島市出身。

◆**四竈(しかま) 泰一 講師**：H14東大・工・システム創成(システム量子)卒、H16東大・工・システム量子修士課程修了、H19同博士課程修了(博士(工))、H19. 4~H20. 3同助教、H20. 4~H23. 1本学・工・機械理工学専攻 光工学分野助教、H23. 2. 1同講師。専門はプラズマ理工学、プラズマ分光学。光を利用したプラズマ計測法の研究開発およびプラズマの動的挙動や表面との相互作用の研究に従事。茨城県水戸市出身。



◆**福島 宏明 講師**：H7京大・工・精密卒、H10同大学院工学研究科・修士課程修了、H13同情報学研究科・博士後期課程修了、同年日本学術振興会特別研究員(PD)、H16電気通信大知能機械工学科助教、



## 会員のページ



### 学年・研究室同窓会開催のご報告

#### 22年会(昭和22年卒)2010年同窓会

日時：平成22年10月29日

場所：京都新阪急ホテル 出席者9名：岡田、桂、岸本、窪田、河野、宮下、森本、若林、竹内

当日は、2年に1回の全国大会であり、東京を含め全国より多数の参加を得たが、2年前と比べ半減したのが話題となった。物故者もあるが、今回は夫人方の不参加が原因とも云える。各人の近況、健康の話題が多かったが、今後のことを考えると各人がそれぞれ健康に留意し、次回の同窓会に出席できるよう努力したいと誓った。次回は平成23年3月29日、大阪クラブにて関西西部会を開く。(岸本記)



#### 泰山会(昭和31年卒)同窓会

10月28~29日開催。出席13名。初日は後樂園、岡山城を散策・見学後、市内のホテルで懇親会を持った。小浜弘幸氏からライフワークの粉体工学を中心とする活動の紹介、田村和彦氏から欧州自転車旅行のスライド、全員の近況報告等4時間にわたり懇談。翌日も好天に恵まれ、(旧閑谷学校・備前焼窯元・刀剣博物館)と(瀬戸大橋遊覧船・塩田王野崎家旧宅)との二手に分かれて見学を行った。(和中記)



#### 五十年会(昭和25年卒)2010年例会報告

日時：平成22年5月17日

場所：(社)大阪倶楽部 出席者：7名

新緑が目まぶしい季節、例年通り大阪倶楽部で開催した。今年は卒業60周年にあたり出席者全員から大学時代の思い出など語っていただいた。興味深い話などあり、この際五十年会全員からも思い出文を募集して簡単な文集を作成することになった。近況報告では、齢を重ねると共に健康面に欠落を生ずる人も出てきているが、昨年定めたように年に1回5月第3月曜日に例会を開催してお互いの近況を確認することにしている。従って次回は平成23年5月16日(月)大阪倶楽部で開催する。また五十年会幹事は下間・小澤より福井・合田に変更となった。(小澤記)



## 京機23年会(昭和23年卒) 同窓会

「京機23年会」の同窓会が平成22年11月11日昨年と同じJR大阪駅構内のグランヴィアホテル大阪で行われました。出席者は昨年と全く変わらぬ顔ぶれで10名でした。昼食をとりながらの3時間色々歓談しましたが、話題は伊原君の地震予知について研究中の詳細を除けば、各人各様の病気とそれに対する医療の話から始まり、どんな老人ホームが良いか、お墓は誰がお守りするの、これに関連しての遺産相続をどうすべきかというかなり具体的な話まで出て、挙句の果ては遺族年金のあれこれまで、機械工学の話題はゼロでした。死がかなり目前に近づきつつある事が暗黙の内にあるのかも知れませんが、年に1回の同窓会で楽しいひと時を過ごし、来年も皆元気で集まれる事を約して散会しました。来年は平成23年11月10日(木)に同じ場所で開催しますので予定方お願いします。(西岡記)



## 獅子の会(昭和44年卒) 東京地区第一回総会

昭和44年卒の集い「獅子の会」の東京地区第一回総会を11月6日に新日鐵代々木倶楽部にて行いました。東京地区だけでなく、遠く関西、中部からも出席いただき、のべ19名の皆さんで、盛大な会となりました。総会に先立ち、「六本木芸術ツアー」と銘打って、ヒルズ展望台、森美術館、新国立美術館(ゴッホ展)を巡った後、会場で3名の方々から、それぞれ大変含蓄あるスピーチを拝聴しました(林田甫氏: ピアノ四方山話、長門侃二氏: 産業政策としての特許制度のあり方、藤原健嗣氏: 旭化成と自然共生社会)。参加者有志の写真展示も楽しみました。そして宴会で卒業以来の旧交を温めながら、秋の一日を目一杯、有意義に過ごすことが出来ました。(江上記)



## 京岬会(昭和33年卒)総会

平成22年10月18日、秋晴れの伊勢神宮に参拝し、お陰横丁や鳥羽水族館を観光後、戸田家に着いた。長い間皆元気だったのに、この1年間で会員が3名も減り、大きな衝撃を受けつつ黙祷をささげ、総会を開始した。お互いの健康と再会を喜び、夜遅くまで和やかな歓談が続いた。翌日、有志はゴルフを楽しんだ。来年は10月17日。(岸本記)



## 昭和42年卒 同期会(H22秋)

平成22年11月5日(金)、東京北品川の「金時」で半年振りに京機会S42年組の集いを開催しました。

元関東支部長の平尾 隆氏が3年間のブラジル勤務から帰国しました。関東在住者を中心に仙台からの参加者もあり11名が参加しました。

出席者: 安藤研治、清野 慧、長崎 啓(幹事)、  
檜村 勝、林 正広、平尾 隆、藤川卓爾、前野幹彦、  
元木敏雄、若園 修、渡邊光寛 (藤川記)



### 京機会ニュース記事投稿のお願い

- 毎号、多数のご投稿を有難うございます -

「会員のページ」の原稿字数は、150字以内(厳守)をお願いいたします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただくことがあります。また、お送りいただいた写真は返却いたしません。ご了承下さい。画像ファイルも可能です。

次号(2011 秋号No. 29)締切は、7月末日です。

編集担当: 松原 厚、蓮尾昌裕、小森雅晴  
段 智子、中尾美江

## 昭和54年卒同窓会

日時：平成22年10月23日(土) 参加者：18名

昨年春の京都での同窓会に引き続き、第3回同窓会を「東京ガス青山クラブ」で開催しました。初めての東京での開催でしたが、はるばる室蘭から来てくれた西野君、関西から参加してくれた北條君、坂口君を含め、計18名が出席しました。30年ぶりに会うメンバーもいて、思い出すのに名札が役に立ちました。

冒頭、北條君が昔とは大きく変わった大学の近況について報告した後、参加者が順に近況報告を行いました。全員50台も半ばとなり、容姿も話題も学生時代とは随分変わりましたが、今でも現役でサッカーやアイスホッケーを楽しむ人、休日は大型バイクに乗ってツーリングに出掛けるメンバーもいて、話は大いに盛り上がりました。(村田記)



## 佐々木研最後の教職員を囲む集い2010

11月12～13日、恒例の「佐々木研最後の教職員を囲む会」第14回例会を瀬戸内海の頭島(かしらじま)で行いました。当日は、JR山陽線「吉永」駅前(岡山県)に集合して備前焼の窯元(石野泰造氏)を訪問し、備前焼の話をしていただいた後で実際の窯を見せていただきました。その後、「日生」港から15分ほど船に乗り、頭島へ到着、ペンション「おやじの海」で懇談会を行いました。新鮮でおいしい魚料理に舌鼓を打ちながら、話に花を咲かせました。

翌日には、日生にある「五味の市」や国宝「閑谷学校」の紅葉を見学し、来年の関東での再会を期して散会しました。(宇野記)



## 第2回 吉川研同窓会の報告

日時：平成22年8月21日(土)

13:00～17:00 村田機械京都本社 18名

18:00～21:00 御肴 凸鉢 20名

村田機械のご協力を得て、吉川研同窓会を3年ぶりに開催しました。第1部は、川井昌之さん(福井大)と森口智規さん(村田機械)の講演とロボットのデモ、繊維機械の見学などを行いました。

第2部では、京都駅前の居酒屋にて親交を深めました。今年は、9月10日(土)に東京で開催することを予定しております。(村上記)



## 学年・研究室同窓会開催のご案内

### 昭和39年卒 関東地区同期会

平成23年4月5日(火)11:45～14:00に、昼食を兼ねた同期会の開催を計画しています。場所は地下鉄銀座線浅草下車、雷門から徒歩5分の「いけす道楽」で会費7000円を予定しています。桜の咲き誇る浅草寺や隅田川の環境で、今話題の「東京スカイツリー」が間近に眺められるといった趣向です。

昨年の会同様、皆様「古希の節目」を迎えられ、久しぶりの同期会を楽しみたいと願っております。参加希望者は下記まで3月20日迄にご連絡下さい。

連絡先 浜本浩志

### 銀友会(昭和36年卒) 卒業50周年記念同期会

平成23年5月9日～10日に50周年記念同期会を京都で開催します。桂キャンパス見学も予定しています。全体計画が固まり次第、別途お知らせします。万障お繰り合わせの上、予定下、お願い申し上げます。

### 第2回 島研&小寺研同窓会

平成23年3月20日(日)に同窓会を開催いたします。ご卒業生はじめ関係者の方々には是非ご参加下さい。《研究報告会会場》京都大学 物理系校舎 (216号室) 《ポスターセッション会場》 (214・215号室) 《交流会会場》聖護院御殿荘

詳細は小寺研HPにて、ご確認ください。

<http://www.ksys.me.kyoto-u.ac.jp/>

### 昭和42年・昭和43年ご卒業の皆様

春季大会(4/17)終了後、S42は同会場(大阪中央公会堂)、S43はホテルグランドイア大阪にて、学年同窓会を開催いたします。詳細は学年幹事にご確認下さい。